

## <まもなく夏休み終了…2期を迎える準備>

校長 佐藤 幹彦



学校で飼っている金魚も、  
暑い中よく頑張りました!

いよいよ夏休みも残りわずかとなってしまいました。皆さんの夏休みはいかがだったでしょうか？私自身はといえば、休みの日には町中をウォーキングしたりして、体力の向上！？に努めておりましたが、先日木曾川の堤防を歩いている時に、今年初めてツクツクボウシの鳴き声を聞きました。私は、その鳴き声を聞くと、子どもの頃に祖父が、「ツクツクボウシは、夏が終わるのが『つくづく惜しい（ツクツクオーシイ）』と泣く（鳴く）んやよ。だから夏休みが終わりに近づいてさみしくなると出てくるんや。どうや、そう聞こえるやろ？」と言っていたことを思い出します。



そんな中、本日（24日）、職員作業を行いました。本日は、学校にあった大量の粗大ごみや廃棄物の処分、コロナ禍になって使用していないプール管理のための掃除、さらには2期のスタートに向けての教室環境整備等を行いました。こういう時も本校の教職員は頼もしい限りです。大規模校ならではの人数の多さはもちろんのこと、ベテランから若手までがお互いに声をかけ合いながら協力して前向きに作業をする姿は、見ていて本当に気持ちがいいです。

夏休み前に生徒たちには、2期のスタートも「元気に笑顔で登校する姿」を期待しているという話をしましたが、私たち教職員も、「元気に笑顔で」そして「温かい気持ち」で2期を迎える準備をしています。2期はスタートから実力テストや期末テスト、阿納研修や関西研修等、各種行事が目白押しとなります。ご家庭でも、お子様が「元気に笑顔で」スタートが迎えられるよう、温かい認めと励ましをよろしくお願いします。